

事業所名 放課後等デイサービス ぱくぱく

支援プログラム

作成日 2025 年 3 月 22 日

法人（事業所）理念	<p>・私たちは人権をキーワードに取り組みを進めています。「すべての人々が自分の生き方を自分で決めることができる」といった基本的なことが、理不尽な差別や様々な要因で実現できない、こんなことが社会にはたくさんあります。 時代の移り変わりの中失われつつある物、人の「優しさ」や「暖かさ」または、翠（ミドリ）豊かな自然環境など大事にしなければならない物がたくさんあります。 私たちは施設運営を含め、法人活動の中で人権尊重、自由（リベルタ）を追求していきます。</p>								
支援方針	<p>・2025年度放課後等デイサービス事業の統合を行い、教育面・療育面・身体面それぞれに特化したサービスを提供する。 ・2024年度に認定された、不適切支援事業の認定を重く受け止め、再度職員間での「接遇・対応」の見直しを強化。近隣地域におけるイメージダウンを含め現状を再確認し、改めて利用者に見線を含めたサービスの質の向上を図る。</p>								
営業時間	13 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>・日常生活上必要なバイタルチェックを行い、その他必要な管理、記録を行い、健康状態を確認します。 ・病気の把握の為、医療情報提供書の提出を求め、病状、服薬等の確認を行い、医療機関での連絡調整を通じて、健康保持の為の支援を行う。又、医療行為に当たらない支援者が行える範囲の指示書内の行為について、家族や医療機関と連携して支援する。</p>							
	運動・感覚	<p>・生活能力向上の為、スポーツ・音楽・指先等による身体活動により、日常生活動作が向上するための指導を行います。 ・外部講師による、体操教室を毎月開催する。 ・様々な楽器を使用できる環境を作り、音を楽しみ、身体を使い、様々な感覚を育む活動を行います。</p>							
	認知・行動	<p>・日常生活行動のルーティンを確立させる為の指導を利用時に行い、習慣を身に着けるよう指導します。 ・会話・創作活動・グループ学習を通して通して集団生活の適応能力を指導します。 ・障害特性に合わせた、個別活動を関係機関や家庭から情報を集め、本人が取り組みやすい内容を指導します。 ・交通ルールや、集団行動を取る機会を提供して、安全と注意意識の向上を身に着ける。</p>							
	言語 コミュニケーション	<p>・日常生活で他者との意思疎通のツールとして、本人に合わせたコミュニケーション方法を検討し、言語、絵カード、写真、手話等を使用して、本人の意思伝達方法を指導する。 ・日常会話や活動参加の際に、コミュニケーション方法が実践出来るように、指導員が一緒に行いながら、身に着くように支援する。 ・外部講師による、STリハビリ訓練を開催する。</p>							
	人間関係 社会性	<p>・利用児童同士が相互に協調性を持ち、集団活動への参加を行いながら、他者を思いやる気持ちを養う為指導する。 ・地域社会との交流会を通して、様々な人との関わりの機会の提供や、環境の変化を体験して社会性を養う。 ・外出活動の機会を提供し、社会資源を見学、体験し、将来への生活をイメージ出来るように支援する。</p>							
家族支援	<p>・本人と家族が希望する生活や、心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助を行います。 ・児童が利用する際に、障害特性や校区の範囲により、自力通所が出来ず、家族の送迎が難しい時は、送迎車による送迎を行う。</p>	移行支援	<p>・小学校入学時や、高等学校卒業時等の時に、移行先事業への情報共有や、本人、家族の相談を支援する。</p>						
地域支援・地域連携	<p>・法人内事業との交流や、地域子供会との交流を通じて、地域連携の機会を設け、地域社会に根ざした事業運営に努める。 ・</p>	職員の質の向上	<p>・研修会や事例検討会、虐待委員会による検討を踏まえ、職員の支援体制を整える努力を行う。 ・従業員へのストレスチェック等を行い、職員間の連携が円滑に行えるように、管理者は努める。</p>						
主な行事等	<p>・個別指導（識字、算数、お金、時計等の問題学習、STリハビリ）・集団活動（お花見、夏祭り、秋祭り、クリスマス会、体操教室、水遊び、創作活動、音楽活動、社会見学、公園の散策、交通安全ルールの指導）・避難訓練（毎月1回開催、施設訓練年2回）・季節の交流会（年4回、地域子供会との交流会、法人内事業所との交流会）・園芸活動（野菜の栽培）・調理活動（昼食作り、おやつ作り）</p>								